

22.情報・交流に関する施策

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	情報・交流
基本方針	まちづくり情報の提供の充実		基本方針に関連するSDGsの目標	 
施策番号	22-01-①	施策名	まちづくり情報の提供	

施策の概要
まちづくりの活性化を図るため、地域の課題解決や、市民公益活動団体の活動を支援するための情報を提供します。

成果指標(単位)	中間支援組織が運営するキラリエ草津協働ひろば公式SNSによる市民活動情報の発信数(件)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	327	333	339	345
実績値	321	194			

成果指標実績に対するコメント
中間支援組織が運営する協働ひろばの公式SNSによる情報発信数については、目標値の6割弱の実績となった。要因としては、情報発信を望まれた事業が当該年度は少なかったことによるものと考えられる。成果指標は目標値に届かなかったが、協働ひろば公式SNSの登録者数はLINEでは552人、Instagramは70人増加させることができた。引き続き、より多くの方に情報が届くよう取組を進めていく。

施策の達成度評価
町内会長全体説明会で町内会活動の課題に対する解決事例等を掲載したまちづくり資料集を配布し、説明を行った。市民活動情報の発信数については、目標値を下回る結果となったが、やみくもに情報発信をするのではなく、市民活動団体等から要望のあった場合の情報発信や、協働ひろばを利用する市民のニーズに合った情報の発信を行うよう努めた。
当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.36 私はこの町内(集落)に対して愛着を持っている」で、偏差値は60を上回る結果であった。 市民活動等のまちづくりに関する情報発信を継続して行うことで、まちとの接点を増やし、まちへの愛着を深めていただけるよう取り組んでいきたい。

評価に基づいた令和9年度取組についての考え方
まちづくり資料集の説明や、町内会長戸別訪問を通じて、町内会の取組事例や課題の共有が図れるよう取り組む。 引き続き協働ひろば利用者のニーズを把握しながら、より多くの市民にタイムリーな情報が届けられるよう努める。
市民活動等のまちづくりに関する情報発信を行う取組は、「No.36 私はこの町内(集落)に対して愛着を持っている」の指標にかかるウェルビーイングの向上の一因子であると考えられるため、引き続き取組を進めていく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
まちづくり情報事業	まちづくり協働課	○	町内会長全体説明会で、町内会活動の課題に対する解決事例等を掲載したまちづくり資料集の説明・配布を行うことなどを通じて、地域まちづくりの活性化を図ることができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
36	私は、この町内(集落)に対して愛着を持っている	実数	3.3	3.3			
		偏差値	66.6	68.6			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)		84							

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	情報・交流
基本方針	まちづくり情報の提供の充実		基本方針に関連するSDGsの目標	 
施策番号	22-01-②	施策名	行政情報の提供	

施策の概要

市民による活発なまちづくり活動が展開されるよう、行政情報を提供します。

成果指標(単位)	LINE登録者数(千人)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	22	26	30	34
実績値	18	22			

成果指標実績に対するコメント

LINE登録者数は21,603人となり、目標値は概ね達成できた。登録推進の取り組みについては、広報くさつや市ホームページへの掲載の他、転入者向け配布物へのチラシの封入、庁内封筒および口座振込通知書への掲載、市内就学前施設での保護者への登録依頼、Sigfly登録者への配信、各イベントでの啓発などを行い、令和7年度は3,566人の増加となった。

施策の達成度評価

各課からの依頼に応じて、登録者に対してプッシュ通知やLINE VOOMで様々な行政情報を発信し、活動に必要な行政情報を提供できた。令和7年度は、わたSHIGA輝く国スポ・障スポが開催されたことから、期間中はリッチメニューの国スポ仕様への変更や、公共施設予約システムの項目の追加など、関心を持っていただく情報発信に努めた。また、新たなSNSとして令和7年10月からInstagramの運用を開始し、写真や動画で本市の魅力を発信した。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.36 私は、この町内(集落)に対して愛着を持っている」があり、偏差値が60を上回る結果であった。
本市では、市ホームページやLINEをはじめとするSNSを、重要な行政情報の提供手段として取り組んでおり、こうした偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き、より効果的に行政情報を提供できるよう取り組みたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

引き続き、誰もが分かりやすく情報を入手できるよう、LINEの運営に努めるとともに、市民が必要な情報を様々な媒体から入手できるよう、広報紙や市ホームページ、Facebook、X(Twitter)といったSNSなどと連携させた情報発信を行っていく。

LINEを活用した行政情報の提供は、まちづくり情報の提供の充実だけでなく、「No.36 私は、この町内(集落)に対して愛着を持っている」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取り組みであると考えており、こうした指標が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイング向上の観点からも、LINEをはじめSNSや市ホームページを活用した行政情報の提供に引き続き取り組んでいく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
広報くさつ発行业	広報課	○	市が推進する施策や計画、市政の現状を市民に周知するため、広報紙を毎月、全世帯に発行することにより、市民と情報を共有することができたため。
シティセールス推進事業	広報課	○	草津市公認マスコットキャラクター「たび丸」の活動や、イベント出演などのKUSATSUBOOSTERSとの連携、シティプロモーションツールの作成等、市内外に向けて本市の魅力を発信することができたため。

■施策評価シート 22-01-②

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
ふるさと寄附運営事業	広報課
インターネット広報事業	広報課
パブリシティ推進事業	広報課
広報映画制作事業	広報課
市長への手紙事務事業	広報課
人にやさしい広報作成事業	広報課
放送委託事業	広報課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
36	私は、この町内(集落)に対して愛着を持っている	実数	3.3	3.3			
		偏差値	66.6	68.6			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)		84							

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	情報・交流
基本方針	多様な連携・交流の展開		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	22-02-①	施策名	産学公民の連携によるまちづくりの展開	

施策の概要
複雑化する課題に対して、産学公民の多様な知見を持ち寄り、共創型で地域の課題解決に取り組み、存続し続けられるよう都市の価値向上ならびに活気あふれるまちづくりを進めます。

成果指標(単位)	「多様な連携・交流の展開」に満足している市民の割合(%)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	12.8	13.2	13.6	14.0
実績値	12.4	15.6			

成果指標実績に対するコメント
市民意識調査の結果、多様な連携・交流の展開に満足している市民の割合は、前年度に比べ+3.2ポイントと大きく増加し、目標値より2.8ポイント高い結果であった。産学公民の多様な主体の連携・交流を目的として、立命館大学・パナソニック株式会社と三者連携を締結したこと、また、アーバンデザインセンターびわこ・くさつを法人化し、アーバンデザインセンターにおいて多様な主体の連携・交流を促したことで、目標を上回る成果につながったと考える。

施策の達成度評価
立命館大学・パナソニック株式会社と三者連携を締結したこと、一般社団法人アーバンデザインセンターみなくさを令和7年9月に設立し、新たな事業展開を進めていることで、一定の効果が見られた。引き続き多様な連携・交流の強化を図るため、三者連携の更なる促進による地域課題解決に取り組むことと合わせて、一般社団法人アーバンデザインセンターみなくさと共に多様な主体が連携・交流できる場の提供を行っていく必要がある。
当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.33 私の暮らしている地域では、地域活動(自治会・地域行事・防災活動等)への市民参加が盛んである」であり、偏差値が70を上回る結果であった。しかしながら偏差値が高いのは30代以上であり20代の偏差値は低いことから、20代への取組について検討していきたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
産学公民の多様な主体による都市課題や地域課題の解決を目指し、三者連携の促進や、草津の未来のあり方について話し合える場であるアーバンデザインセンターの運営を行う。
多様な連携・交流の展開は、「No.33 私の暮らしている地域では、地域活動(自治会・地域行事・防災活動等)への市民参加が盛んである」といった指標にかかるウェルビーイング向上に資する取組であると考えており、当該指標が高い水準であったことを踏まえ、引き続き多様な連携・交流が生まれる場の提供を行う。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
アーバンデザインセンター運営事業	草津未来研究所	○	アーバンデザインセンターびわこ・くさつの法人化や、三者協定の締結により、産学公民の連携・交流を深化させることができた。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
草津未来研究所運営事業	草津未来研究所

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
33	私の暮らしている地域では、地域活動(自治会・地域行事・防災活動等)への市民参加が盛んである	実数	3.2	3.2			
		偏差値	73.5	74.7			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)		90							

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	情報・交流
基本方針	多様な連携・交流の展開		基本方針に関連するSDGsの目標	     
施策番号	22-02-②	施策名	都市間交流の促進	

施策の概要
多様な人々との交流を展開するため、姉妹都市等との交流など、市民間での都市間交流が活発になるよう、情報提供をしていきます。

成果指標(単位)	「多様な連携・交流の展開」に満足している市民の割合(%)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	12.8	13.2	13.6	14.0
実績値	12.4	15.6			

成果指標実績に対するコメント
市民意識調査の結果、多様な連携・交流の展開に満足している市民の割合は、前年度に比べ3.2ポイント上昇し、目標値を達成することができた。令和7年度は、国内だけでなくポンティアック市への訪問事業を通じた国際的な都市間交流や、観音寺市合併10周年記念式典への出席、伊達市との継続事業としてみらいKIDSにぎわい交流事業を草津市で実施することができたことなどが要因の一つと考えられる。

施策の達成度評価
国内での都市間交流について、伊達市とクリスマスブーツを通じた交流やみらいKIDSにぎわい交流事業、観音寺市の合併10周年記念式典や観音寺市庁舎での姉妹都市広報などを通じて、両市の市民に対して姉妹都市・友好交流都市についての周知を行うことができた。また、国外での都市間交流について、ポンティアック市に市使節団を派遣し、両市の相互理解を深めることができた。
当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.45 暮らしている地域は、文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい」、「No.46 将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい」に寄与するものであり、偏差値はそれぞれ53、80という結果であった。引き続き、都市間交流を進める中で、お互いのまちの魅力や歴史、文化、伝統に触れ、将来の世代のために良い環境を残すという意識を育み、民間同士での交流を促進できるよう取組を進めていきたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
伊達市および観音寺市との交流については、市民活動団体が継続的に交流事業を実施している。市民間で都市間交流が活発になり、多様な人々との交流が展開できるよう、今後も広く市民に都市間交流についての情報発信を行うとともに、市の関わり方について他の自治体も参考に研究する。
市民間で都市間交流が活発になるよう情報提供を図ることは、「No.45 暮らしている地域は、文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい」「No.46 将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも繋がると考えており、今後も、多様な人々との交流を展開するための取組を進めていきたい。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
姉妹都市等交流事業	まちづくり協働課	○	国内外問わず姉妹都市・友好交流都市との交流を行い、市民への周知を行うことができたため。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
45	暮らしている地域は、文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい	実数	2.8	2.9			
		偏差値	51.3	53.2			
46	将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい	実数	4.1	4.1			
		偏差値	80.0	80.0			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)									